



高槻だより

高槻っ子スローガン



- ・あいさつで心通わす
- ・全力を出し切ってがんばる
- ・お互いを支える思いやりをもつ
- ・自分の、友だちの、命を守る



子ども

子どもにとって「学んでよかった」学校 保護者、地域にとって「預けてよかった」学校。信頼のおける学校をめざし

「だれからも愛される6年生」お別れ集会。

3月3日月曜日に、6年生のお別れ集会をしました。集会の計画、司会進行は5年生が受け持ちました。縦割りグループをつかった高槻小〇×クイズや、校歌や退場時のピアノ演奏など、一人一役のフル回転で、場を盛り上げてくれました。1年生から5年生まで、6年生へ向けて、心のこもった、素晴らしい会でした。

1年



2年



1年生は「思い出のアルバム」2年生は「たのしいね」で、それぞれ、6年生への思い出を、替え歌にして送りました。3年生は6年生とのじゃんけんを通して、クイズをしました。最後は「にじ」を歌いました。4年生は「鉄腕アトム」を6年生への替え歌で披露。そして、合奏もしました。5年生は、思い出のアルバムをつくりました。小学校で頑張ったことや将来の夢など、6年生一人一人を写真で紹介し、小学校での思い出を振り返りました。

3年



4年



サプライズゲストで、3年生、4年生を受け持っていた濱口先生や芳賀先生もビデオで登場しました。懐かしい写真に、6年生からは照れた笑い声が聞こえました。

どの学年も、短い間に、一生懸命練習し、お別れ集会に向けて頑張ってきたのでしょう。6年生にもその気持ちが伝わり、とても喜んで、学年の出し物に耳を傾け、拍手を送っていました。

5年



最後は、6年生が「高槻レンジャー」として「た・助け合う 思いやりの心 か・かっこよく成長する つ・積み重ねて努力する き・気持ちの良い笑顔でのあいさつ。そして命を大事にしよう」を楽しい劇を交えて、在校生に伝えてくれました。先生方からは、backnumberの「水平線」を歌と演奏で、

6年



6年生の保護者の方や地域の方も参観され、高槻まちづくり協議会からは2月28日金曜日に、卒業生におまんじゅうと手作りのランドセルキーホルダーをいただきました。

卒業式まであと10日。

6年生と過ごす時間も短い中での、素敵な一日でした。



6年生国語科で学ぶ「生きる」谷川俊太郎作の詩で、高槻小6年生バージョンをつくりました。

生きるー高槻小学校6年生バージョンー
 生きているということ。今生きているということ。
 阿南さんが、僕のヒーローアカデミア、ウルトラスクランブルのゲームに夢中だということ。
 葛城さんが、サッカーが得意だということ。
 木原さんが、自作の小説づくりにはげんでいるということ。
 生きているということ。今生きているということ。
 それは、後藤さんが、いつも笑顔でいることを大切にしていること。
 才藤さんが、一年生から六年生までの算数を、中学校へ行くために復習にがんばっているということ。
 坂本さんが、将来ゲームの実況者になりたいとおもっていること。
 白江さんが、ラグビーが得意だということ。
 生きているということ。今生きているということ。
 それは、床嶋さんが、中学校に行ったら、バスケット部に入りたいと思っ
 ていること。
 野田さんが、自分のことで後悔しない、何事も本気でぶつかっていくこと
 を決意しているということ。
 濱さんが、六年一組、みんなと過ごすことを大切にしているということ。
 吉松さんが、シャインマスカットやイチゴが好きだということ
 生きているということ。あなたの手のぬくもり、いのちの輝きのこと